

PLAYBACK 2018



大阪出身の松田が地元の大声援を受け、日本歴代9位の好タイムで初マラソン初優勝を飾った。



15キロ付近
先頭集団が10人まで絞られる。



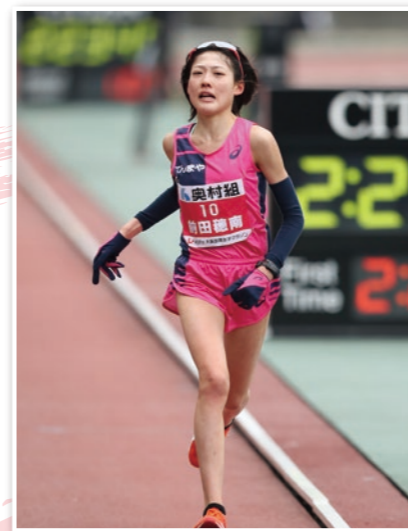
御堂筋折り返し
安藤(スズキ浜松AC)、松田(ダイハツ)、前田(天満屋)の3人が先頭集団を形成。



25キロ付近
前田がペースを上げ、レースを大きく動かした。



30キロ付近
松田は50メートルほどあった前田との差を徐々に詰め、追いつくと一気に抜き去った。



2位
積極的に仕掛けた前田は2位に終わるも、自己ベストを5分更新した。



3位
現役最速ランナーとして臨んだ安藤が3位。MGC出場権を獲得するも、ゴール後、悔し涙をみせた。



Next Heroine
8位入賞、敢闘賞を獲得した水口(大阪学院大)。

2020年東京五輪の代表選考会

「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」への出場資格を懸け開催された第37回大阪国際女子マラソン。

気温5度という厳しい寒さのなか、401人のランナーが繰り広げる熱いレースに、沿道や競技場から37万人の観客が声援を送った。

第37回大会 2018.1.28

出場者 401人/国内390人、
外国11人(9カ国)

完走者 361人

気温 5.0℃(スタート時)

湿度 49%(スタート時)

順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	松田 瑞生	22	ダイハツ	2:22:44
2	前田 穂南	21	天満屋	2:23:48
3	安藤 友香	23	スズキ浜松AC	2:27:37
4	アニャ・シェール	31	ドイツ	2:29:29
5	吉田 香織	36	TEAM R×L	2:29:53
6	小崎 まり	42	ノーリツ	2:30:03
7	グラディス・テハダ	32	ペルー	2:30:44
8	水口 瞳	21	大阪学院大	2:33:10
9	古瀬 麻美	29	京セラ	2:33:58
10	池満 綾乃	26	鹿児島銀行	2:36:18

